

視覚障がい者のための VoiceOver 入門講座テキスト

姫路デジタルサポート

2025. 05. 21

はじめに

本テキストは、VoiceOver をこれから学習する入門者を対象に、VoiceOver の基礎やメールアプリの使い方を学習できるようプログラムしています。5回シリーズの講習会で利用できるよう、5つの単元から成っています。

第1、2単元では、Siri を積極的に活用し、使用するジェスチャーは最小限に抑え、入門者に無理なく学習できるよう工夫しています。また、第1、2単元の講習では、受講者に達成感を感じてもらうため、煩雑な設定についてはサポーターが代わって行うこととしています。講習においても、マンツーマンの対応ができるサポーターの配置が望まれます。

この入門講座では扱っていない VoiceOver の操作方法も多々あります。また、生活を豊かにしてくれるたくさんのアプリがあります。さらなるスキルアップを目指して、単発の講習会への積極的な参加が望まれます。

音声テキストも作成する予定ですので、自宅での復習に利用してください。プレクストークや CD ラジカセで再生できます。

本入門講座は、iPhone の iOS17 における操作方法を説明していますので、それ以外のバージョンでは、操作方法や読み上げ内容・ボタンの名称などが異なることもあると思われます。

講習時には、AppleID のパスワードの準備をお願いします。アプリのインストールなどでパスワードが必要になることがあります。AppleID のパスワードは、iPhone 購入時にショップから大切に保管してくださいと言って渡された、A4 の用紙などに記載されています。

本テキストの各単元の内容は次のとおりです。

第1単元：VoiceOver、Siri の基礎と電話のかけ方

- 1-1 Phone の外観・ボタンの確認
- 1-2 Siri を使ってみる
- 1-3 VoiceOver を使う前に
- 1-4 基本ジェスチャーを練習する
- 1-5 電話をかける

第2单元：Siri を使ってメールの送受信と簡単な文字入力

- 2-1 Siri を使ってメッセージを送受信する
- 2-2 Siri を使ってメールを送受信する
- 2-3 文字入力 その1 ジェスチャーで数字を入力
- 2-4 文字入力 その2 音声によって文章を入力

第3单元：電話履歴から連絡先への登録、さまざまなジェスチャー

- 3-1 さまざまジェスチャーを使う
- 3-2 ボイスオーバーをもっと使い易く
- 3-3 ローターとは
- 3-4 電話履歴から連絡先に登録

第4单元：文字入力とメールの基礎

- 4-1 スクリーンキーボードと入力のための設定
- 4-2 スクリーンキーボードで入力する
- 4-3 メールアプリを使い易く設定する
- 4-4 ジェスチャーでメールを読む
- 4-5 メールアドレスを連絡先に登録する

第5单元：ジェスチャーを使ってメールの送受信

- 5-1 メッセージアプリを使いこなす
- 5-2 メールアプリを使いこなす
- 5-3 連絡先の使い方
- 5-4 簡単な文章の編集

追補

第5单元を終了すると、ボイスオーバーの基本的な使い方と電話やメールが使えるようになりますが、さらに、スキルの向上を目指しましょう。入門講座終了後、まず、次の内容を講習会や個別サポートで学習することをお勧めします。

■ボイスオーバーをさらに使い易くする。

- ・指紋、顔認証とパスコードの登録
- ・読み上げ辞書の登録をする
- ・ユーザ辞書を登録する
- ・連絡先を使いこなす。

■次に習得したいアプリ

- ・Safari アプリ (Web ページを検索して、読む)
- ・Zoom アプリ (オンライン会議に参加したり、オンラインでサポートを受ける)